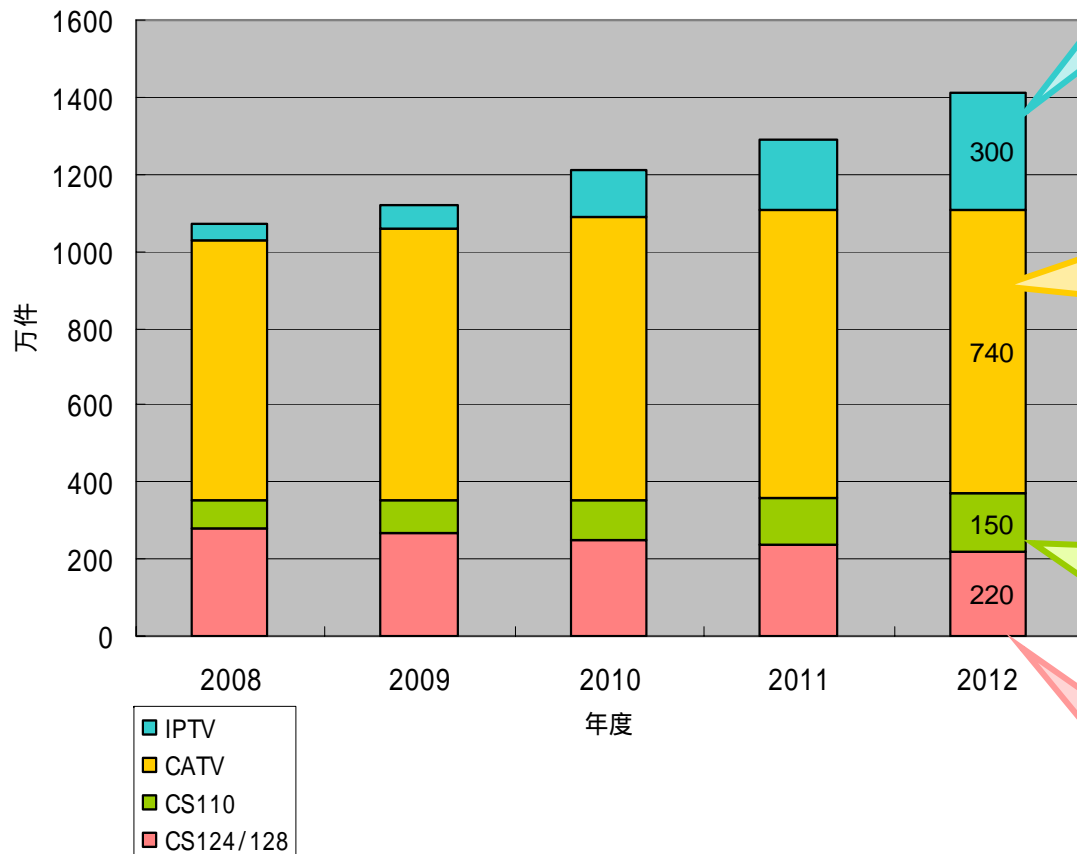


.total



IPTV
地デジ再送信エリアの拡大に伴い増加傾向にaxelがかかる。テレビ視聴も既存の光回線で済ませてしまおうとの流れが拍車となる。

CATV
地デジ対応について「お任せ的」な発想からCATV加入は堅調に増加が見込まれる。11年度をピークにreboundによる減少が見られ始める。

CS110
三波共用機の普及との乖離は広がるものの、チャンネル数の手頃感から、堅実な増加が見込まれる。124/128の減少分を吸収する効果は有り。

CS124 / 128
娯楽費の抑制傾向と、三波共用機に付けるSTB台数限定の傾向が相俟って純減傾向が続く。HD化による効果は期待薄。